

PHOTONIS 社、世界的な防衛需要の高まりに 対応するため生産能力を強化

ロシアのウクライナ侵攻から 1 年を迎え、東アジアの緊張が高まる中、欧州やアジア諸国を中心とした世界の防衛費の増加（欧州は 2021 年に 3.5%、2022 年に 0.8%）に伴い、防衛企業は着実に生産量を増やしています。Photonis 社はナイトビジョンデバイスの生産能力を増強し、新たな節目を迎えました。

防衛の意思決定者を悩ませる世界経済の課題

2023 年版「ミリタリーバランス」は、過去 2 年間のインフレ率の上昇は、欧州とアジアの財政支出を弱めることはなかったと述べています。しかしサプライチェーンの混乱が続いているため、ウクライナへの支援を表明し、結果として防衛費を増額した欧州諸国の 3/4 において、産業界が需要に対応できず問題を抱えています。ドイツは、特に軍事面において大幅な増額を発表している国のひとつです。

新たな課題や要件に対応する、信頼できるキーサプライヤーの存在

Photonis 社製の 4G および 4G+イメージインテンシファイアは、NATO 軍の最新の運用要件を満たすことにより、市場の類似製品を凌ぐ新機能を提供し、非常に暗い条件下でも視認できる最先端の光学技術を短納期で生産・提供することにより、世界の競合企業に挑戦します。ナイトビジョン装置は、最近のウクライナによるロシア陣地への反撃の成功において戦略的な役割を果たしたため、すでに Photonis 社製品に信頼を寄せる NATO 軍は、兵士への装備を進めるため、生産量を増やすよう業界に強く求めています。Photonis 社は、非常に要求の厳しい顧客に対して国際的な経験を持つマーケットリーダーであり、常に研究開発と生産設備への投資を行っており、この著しい方向転換を予見し準備を進めてきました。Photonis 社はすでに生産能力を増強しており、来年にはヨーロッパ、アジア、アメリカの世界的なニーズに対応するためにさらに増産する余地があり、現在の需要に対応することが可能です。最近締結された契約は、この自信と実力を証明するものです。

PHOTONIS 社について

2021 年より HLD の傘下に入った Photonis 社は 80 年以上にわたり、光検出・画像処理技術の研究開発、製造、販売に携わってきたハイテク企業です。パワーチューブ、デジタルカメラ、中性子・ガンマ検出器、科学検出器、インテンシファイアチューブなどの、検出器や検出ソリューションを提供しており、お客様に合わせたソリューションを提供することで、非常に厳しい環境における複雑な問題にも対応することができます。長期にわたる継続的な投資により、Photonis 社はオプトエレクトロニクス分野の主要なイノベーターとして国際的に認知されており、ヨーロッパと米国の 5 つの拠点で生産と研究開発が行われています。

詳細情報はこちらをご覧ください:

Photonis - Frederic Hosatte

Sales area director Asia
f.hosatte@exosens.com

日本輸入総代理店)FLE へのお問い合わせ
info@fle-japan.com

